

第1回全国手をつなぐ育成会連合会島根大会



全日本手をつなぐ育成会から新しい組織として、全国手をつなぐ育成会連合会の第1回大会が島根県松江市、宍道湖畔のくにびきメッセで開催されました。2日間とも晴天に恵まれ、2,100人の参加でした。

秋田県からの参加者 3人

玉の池荘保護者会長 飯田忠夫

みずばやし保護者会長 須田 馨

県育成会事務局長 柳原 清

全国手をつなぐ育成会連合会 久保厚子会長のあいさつ



第4分科会・式典会場

9月27日（土）分科会 9時30分から16時まで、第4分科会「老いる」に参加しました。（400人参加）

コーディネーター 福島龍三郎（佐賀県）NPO法人ライフサポートはる
高齢化を含む「ハイリスク家庭」にどう向き合うか。

○知的障がいのある人は家族との同居率が高い

○高齢時の単独率も高い

○全日本手をつなぐ育成会が調査した「知的障害者を含む世帯の「孤立死」を防ぐ事業」の報告書から2例を紹介（別紙）

○ハイリスク家庭への5段階のアプローチ

①「発見の段階」 ②見守りの段階 ③「危機介入」の段階

④「支援の調整」の段階 ⑤「地域支援体制の調整・強化」の段階

○「危機介入の」の段階での対応

- ・緊急の電話相談対応
- ・緊急の訪問
- ・緊急のショートステイ

緊急時に対応できるサービスとして・地域定着支援事業 ・地域生活支援の拠点 が普及することが重要（別紙）

以上のことを問題提起し、議論することにした。

基調講演 田中正博 全国手をつなぐ育成会連合会 統括

「どうする？高齢化」総合支援法時代に育成会に求められる姿

○迫り来る「家族同居の高齢化」をどのように受け止めるのか。

○認知症高齢者が増加していく

○地域で生活する知的障害児者を含む家庭が「孤立死」に至るリスク

○地域移行支援・地域定着支援と地域生活支援事業補助金との整理

1 住宅入居等支援事業（居住サポート事業）

①入居支援（居住サポート事業）

居宅で単身で生活する障害者又は同居する家族等による緊急時の支援が見込まれない者

- ・常時の連絡体制の確保
- ・緊急時の支援（緊急一時的な宿泊を含む）

②入居支援（障害者入所施設・精神科病院入院者への個別支援）

2 地域移行のための安心生活支援事業

①常時の連絡体制と緊急時の支援

②緊急一時的な宿泊（居室の確保料以外の分）

③一人暮らしの体験宿泊（同上）

④ ②・③の居室の確保料

⑤地域の体制整備のためのコーディネート

○知的障害者の高齢化の問題

- ・高齢になれば内科的な病気の増
- ・身体機能の低下
- ・認知機能の低下（知的障害の場合、もともと出来ないことが多いので判断しづらい）

○サービス等利用計画の重要性

- ・本人の「したいこと」を中心に
- ・個別支援計画 本人のニーズ、目標、支援方法
- ・サービス等利用計画は、市町村の支給決定「前」に案を作成するのか
本人や家族の思いを元に、年齢に応じた現在の困り感や将来希望する暮らしぶりを一緒に考える → ライフプラン

○「今の暮らし」から「これからの暮らし」を考える

おためし利用 → GH、短期入所、ホームヘルプ

○地域における居住支援

GH、小規模入所施設

○障害児者の地域生活推進のための多機能拠点構想（厚生労働省資料）

小規模・多機能拠点の整備

コーディネーターの配置、グループホームの定員規模の特例、障害福祉計画に基づく整備 日中・夜間や重度者に対する支援の充実

高齢化・重度化や「親亡き後」の課題に一定程度対応することができるよう、地域における居住支援のための機能を強化 → 体験の機会・場の提供、緊急時の受け入れ・対応、専門的な対応などをショートステイの拡充を軸に地域の機能を強化

○地域における居住支援の在り方は、市町村協議会で議論することが前提

○ GH 定員を特例で 20 名程度まで拡大可能としたうえで、安心コールセンター機能や基幹相談支援、短期入所など地域生活支援の機能を付加

○ 高齢化する知的障がいのある人を念頭に置いた「小規模な入所施設」に機能を付加することも可能

○ こうした機能を有する施設等を「地域生活支援拠点」として位置づけ

○地域生活支援拠点等の整備

平成29年度までに各市町村または各圏域に少なくとも一か所ずつ整備するよう、障害福祉計画の成果目標として新たに設定 ← 市町村育成会で確認、要望する必要有り

提案者 高齢になっても安心して暮らせる環境とは

片桐公彦（新潟県）社会福祉法人みんなでいきる 理事長

安心生活支援事業（あんしんコールセンター）

○入所施設から GH のバックアップがしっかりしていれば安心支援センターの役割

○基本的役割は大会資料の P204 ～

○24時間3交代 5千万くらい

○コーディネーターの配置 900万の補助事業

○ショートステイ 緊急対応のため上越市から2部屋借り上げしてもらっている。

○通常のショートと緊急対応、コールセンター（虐待等シェルターの）

○緊急はなるべく短く 48時間以内にケース会議を関係者で協議 次の対応へ

○「いつでも相談できる」ことで人は救われる。安心する。

提 案 高齢知的障害者の支援 大村美保 国立のぞみの園 研究員

○課題 ①心身の高齢化 ②ハイリスク高齢者への支援 ③高齢福祉サービスへの移行

○高齢入所者は、日中活動が出来なくなっている

過去に行った活動が可能か検討

○高齢認知症への対応

認知症の確認が難しい もともと出来ないことが多い

出来ることのベースライン 性格 生活リズム 検診結果

元気な頃の様子を知っておく

○65歳で介護保険優先の問題 P214

市町村の裁量による。←相談専門相談員 介護保険のケアマネ が専門知識で判断することを市町村の担当者ができるか？

・高齢になると様々な疾患 40代以上の初発のてんかんが増えている

- ・出来るだけ暮らしの場を変えないこと
- ・障害部門から老人介護部門に本人の状況をよく伝える。
- ・在宅から特養に移るケースが多い
- 地域生活における様々な緊急対応を想定するなら、サービス利用計画としてショートステイ利用を盛り込むとともに、事前にショートステイ事業所と契約することが重要
事前契約がないと緊急対応のショートが難しい
- 高齢になってから新たに登場する知的障害者（療育手帳なし）の問題
- 地域におけるつながり、みまもり、「発見」「見守り」「介入」
- 障害サービスだけでなく必要なときに必要な支援に結びつく必要

提 案 生活の場、特別養護老人ホームふくらで豊に看取る

金森暢子 社会福祉法人グロー 特別養護老人ホームふくら 看護師

- 特養を終の棲家として、看取りまで実施している事例を説明、家族からも感謝されている旨、報告があった。
- 知的障害者であっても、認知症高齢者であっても同じ人として受け入れている。

フロアから

- 新潟県に安心生活支援センターはどのくらいあるのか。
片桐 新潟県には4つある。中越の長岡市には GH 利用者が 102 名、高齢にともなって通院が多くなっている。
- ショートステイの使い方には家族のレスパイト、本人が疲れたので使用、虐待での使用と様々であるが、まず使ってみることが必要
- 特養ふくらの体制について
入所 80人 ショート6人で支援員は非常に忙しい。食事1人で食べれる人が少ない。医師は嘱託医で24時間対応、看護師1日3人交代 夜はオンコール
高齢知的障害者と通常の高齢者あまり違いがない。
- 65歳問題 介護保険関係でケアマネの研修を行って知的障がいの特性を覚えてもらうような働きかけをしたらどうか。
田中統括から制度が違うので難しい。一律に介護保険に移行が問題である。
- 最後に、田中統括から
 - ・障害者施策は市町村が主体である。各市町村育成会で我が町のあるべき姿、ショートステイの充実などを市町村に訴えていく必要がある。
 - ・中心になる軸は、サービス利用計画、相談支援専門員が利用施設に内容を細かく連絡する必要がある。
 - ・地域生活の拠点整備について、市町村障害福祉計画に載っているか、市町村に確認が必要 ← 市町村育成会の重要な役割

9月28日(日) 大会式典 9時から12時

- 主催者あいさつ、来賓祝辞のあと表彰、秋田県から秋田県育成会監事 柿崎文夫さんが表彰されました。受賞おめでとうございます。
- 参議院議員 衛藤晟一議員、山本博司議員から激励のお言葉がありました。

記念講演 障害福祉施策の動向 厚生労働省社会・援護局

前障害保健福祉部長 蒲原基道 氏

- 障害者施策は、措置から支援費、障害者自立支援法、障害者総合支援法と大きく変わってきた。本人の希望を重視する施策となったことで、良い方向になった。
- 障害者自立支援法で障害関連予算を義務的経費とすることができた。年々増加している。
- 障害者権利条約の批准
 - ・障害に基づくあらゆる差別を禁止(合理的配慮の否定を含む)
 - ・障害者が社会に参加し、包容されることを促進
 - ・障害者差別解消法等の成立
- 本人を主体にした支援へ
- 地域生活の基盤整備事業の活用

中央情勢報告 全国手をつなぐ育成会連合会 会長 久保厚子

- 今年度からあらたな全国の育成会に生まれ変わった。
- これまでの社会福祉法人格は、事業内容からそぐわなくなっていた。国から解散を求められる前に、自ら法人格を返上し、新たな組織としたので協力をお願いする。

次期開催地

名古屋市 国際会議場

平成27年9月26日(土)・27日(日)



朝日に輝く穴道湖



夕日の穴道湖